

第 11 回全国法人会女性フォーラム福島大会に参加して

女性部会理事 宮井典代

去る平成 28 年 4 月 14 日（木）早朝より徳島空港から出発し、東京経由で福島県郡山市にあるビッグパレット福島を阿部須美子さんと目指しました。

期待を胸に会場に到着すると、東日本大震災から五年経った今もビッグパレット福島の隣には、沢山の仮設住宅が並び、復興の現状を知らされた思いです。

当日は天候にも恵まれ、全国から凡そ 1800 名の女性が集い、法人会女性フォーラム福島大会が盛大に開催されました。

第一部は元ラジオ福島アナウンサーの大和田 新氏を講師に「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」というテーマで記念講演がありました。現在も仮設住宅でご苦労されている現状や被災者の方々のインタビュー等を組み込んだ映像を交えての記念講演でした。このビッグパレット福島でも当時 3,000 名の被災者の方々が、避難生活を送られていたとお聞きし、遠く離れた四国に居るとテレビで観て、知っているようでも福島県民のご苦労が、身近に感じていなかった事に、申し訳なさを痛感いたしました。伝え続けて行かなければ、人はすぐに忘れてしまいますよね。

そして第二部の式典では今回の大会キャッチフレーズ「心ひとつに伝えよう、繋ごう、創ろう、福島から。」をメインに、来賓紹介やご祝辞を頂き、各種活動報告やパネル展示コーナーでは「税に関する絵はがきコンクール代表作品展」と「福島県内法人会活動報告パネル展」がありました。今後の女性部活動におけるヒントになる展示もあり、大いに刺激となりました。

第三部の懇親会では地元福島の食が私達を持って成して下さいましたが、大勢のためか、女性特有の食べて元を取るためか、あつという間にお料理は無くなっておりました。

圧巻であったのはアトラクションで、有名なフラガールショーは若いダンサーの躍動する動きとリズムに迫力があり、観る者の五感を刺激するに余りあるもので、良き思い出となりました。

大会終了後、私たちの地元にも何時やって来るか分からない地震の事を、もっと考えておかないといけないな、と思いながらホテルに戻って、テレビのスイッチを入れた途端に、熊本地震の報道にびっくり致しました。五年前の忘れかけていた大震災の生々しい講演を聞かせて頂いた、直後に起きた九州での地震に、他人事ではない近くの災害に心を痛めますが、さて自分に何が出来るのかを、考えさせられる大会となりました。

阿波麻植法人会女性部の立場から、また女性の目から見ても一体何が出来るのか、今大会を通じて学ぶ機会を与えて戴けた事に心から感謝致します。